

# 令和8年度 岩手県立盛岡峰南高等支援学校 経営方針

生徒のニーズ	保護者のニーズ	地域のニーズ	進路先のニーズ
1 分かりやすい授業の実践 2 進路希望の実現 3 社会で生活できる力の獲得 4 部活動・行事の充実	1 基礎学力の向上 2 進路希望の実現 3 社会生活力の獲得 4 学校生活の充実	1 地域に開かれた学校 2 社会に対応できる人材の育成 3 特別支援教育のセンター的機能による支援	1 働く意欲の醸成 2 基本的な生活習慣の確立 3 コミュニケーション能力の育成 4 特別支援教育の情報発信

ニーズの把握 ↓ 理解と協働 ↑ ニーズへの対応

<b>パートナーとの連携</b> <b>1 生徒</b> 学力の定着 教育活動への主体的参加 自立と社会参加につながる活動 <b>2 保護者</b> 相互の信頼に基づく活動 教育活動の充実 学校及び進路情報 <b>3 地域住民</b> 情報共有 交流（施設、学校、ボランティア） エスベロの会 <b>4 進路先</b> 障がい者雇用環境の整備 特別支援学校と企業との連携 技能認定会	<b>教育理念</b> <b>生きがいある豊かな生活の実現</b> ～生徒一人一人の自己実現を目指す指導・支援～  1 働く力を育成する指導・支援 2 自己肯定感を育成する指導・支援 3 社会参加する意欲を涵養する指導・支援 4 自立した生活力を育成する指導・支援  <b>校訓</b> <b>明朗 希望 自立</b>  <b>教育目標</b> <b>自立と社会参加を目指して、たくましく生きる生徒</b> ～可能性の伸長と生きる力の育成～	<b>学校に影響を与える変化等</b> 1 いわて県民計画 （2019～2028） 2 岩手県教育振興計画 （2024～2028） 3 いわて特別支援教育推進プラン （2024～2028） 4 岩手県立特別支援学校整備計画 （2021～2028） 5 新学習指導要領 （2022～） 6 特別支援教育対象生徒数の変化及び障がいの多様化 7 障がい者雇用をとりまく環境等の変化 8 世界の動き（疫病、自然災害、国際情勢）
---	---	--

**<中長期目標>**  
 専門学科のみの高等支援学校としてキャリア教育を  
 実践し、進路実現を図る

**<令和8年度重点目標>**  
 1 主体性を育み、自立と社会参加にむけた丁寧な指導・支援をする  
 2 生徒の可能性を広げるための機会を創出する  
 ～学年・学科・校務部間の連携、地域との連携をとって推進する「魅力ある学校づくり」～  
 3 自己肯定感及び規範意識を育成する

1 深い学びの実現を図る【支える】	2 豊かな人間性を育む	3 進路目標の実現を図る【つなぐ】
(1) 年間指導計画及びシラバスの充実 (2) 個別の指導計画の作成と活用 (3) 学力向上のための授業力向上 ・深い学びを支える基礎学力の向上 ・分かる授業、魅力ある授業の実践 ・主体的、対話的で深い学びの指導 (4) 生き方指導の推進 ・キャリア教育の充実 ・復興防災学習の充実 (5) ICTと図書館の効果的な活用 (6) 生徒の可能性を広げる機会創出 ・専門学科間の連携、企業等との連携	(1) 生徒憲章の浸透 ・思いやりの心の醸成、いじめ防止 (2) 基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成 ・あいさつの励行 ・部活動の充実 ・交通安全指導の充実 ・登下校指導の充実 (3) スマートフォン等情報モラルの育成 (4) 地域貢献をとおした自己肯定感の涵養	(1) 自己理解の深化 ・個別面談の実施 ・産業現場等実習の充実 (2) 一般就労達成率の向上 ・生活規律の確立 ・寄宿舎と連携した生活力を高める支援 (3) 進路開拓の継続、職場定着率の向上 ・進路ネットワークの構築 ・個別の教育支援計画の活用 ・企業との連携
4 相談支援（校内・校外）の充実を図る【いかす】	5 開かれた学校づくりを推進する	6 教職員の資質向上を図る
(1) 校内支援体制の確立 ・関係部署や外部機関等との連携 (2) 他校種等への継続型支援の実施 (3) 教育相談支援の実施 (4) 研修企画支援の実施	(1) 保護者との連携強化 ・PTA活動の活性化 ・園域PTAの充実 ・学年PTAの充実 ・PTA通信発行 (2) 交流活動の充実 ・外部販売を通じた交流 ・高等学校との交流 ・ボランティア活動、地域交流 (3) 情報発信の充実 ・ホームページ、学校案内等の充実	(1) 専門性の向上 ・互見授業の推進 ・ICTの活用の推進 ・外部講師招聘による研修の実施 ・校外研修への参加 (2) コンプライアンスの確立 (3) 働き方改革（心身の健康の保持増進） ・業務の改善、効率化 ・職場環境の整備 ・衛生委員会の開催 (4) 内部統制の充実と強化
7 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止	8 不適切な指導・言動の根絶	9 学校の在り方についての検討
いじめが起きにくい学校・学級風土（未然防止） (1) 思いやりの心の育成 ・道徳教育や学級指導の充実 (2) 生徒会活動におけるいじめ防止 ・いじめ防止スローガン等の策定 (3) 生徒の悩みやいじめ情報の収集 ・相談ポスト等の設置 ・アンケートの実施と迅速丁寧な対応	(1) 根絶に向けた学校風土づくり ・コンプライアンス宣言 (2) 校内研修の実施 ・再発防止「岩手モデル」による研修の充実	(1) 生徒の多様化・社会の変化に対応 ・個々の能力・適性・希望に応じた学び ・多様な学習ニーズに答える柔軟な学び (2) キャリア教育と進路実現の強化 ・職業的・社会的自立に向けた段階的な学び ・地域・企業等の連携を重視した実践的教育